

2013年1月24日(木)

メディカル・データ・ビジョン株式会社
株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン

**DPC分析ベンチマークシステム「EVE」の係数指標メニューに
「DPC病院 群の要件」及び「機能評価係数 に係る評価」の分析機能を段階的に追加
第一弾として2013年2月8日よりモニタリング機能がスタート
ベンチマーク比較を含む自院の実績確認が可能に**

医療情報のネットワーク化を推進するメディカル・データ・ビジョン株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役:岩崎 博之)及び株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン(本社:東京都港区 代表取締役:渡辺 幸子)は、両社が共同提供するDPC分析ベンチマークシステム「EVE」の係数指標メニューに「DPC病院 群の要件」及び「機能評価係数 に係る評価」の分析機能を段階的に追加していくことをお知らせいたします。その第一弾として、2013年2月8日より、「DPC病院 群の要件」及び「機能評価係数 に係る評価」に関する自院の実績確認のほか、他院とのベンチマーク比較が可能なモニタリング機能を追加することとなりました。

【ここがポイント】

「DPC病院 群の要件」及び「機能評価係数 に係る評価」について自院の状況が確認できる

それぞれの項目について、自院と他院の実績を数値で確認できるのはもちろんのこと、自院の状況を時系列グラフとベンチマークグラフで確認することも可能です。

他院との比較時に、病院規模・病院種別・DPC実施区分・医療機関群の4項目を条件設定できる

自院と他院を比較する際、病院規模・病院種別・DPC実施区分・医療機関群について検索条件を設定とすることで、自院と類似した環境の病院と比較することが可能です。

< サービス提供の背景 >

2012年度の診療報酬改定から、病院ごとに設定されていた調整係数は医療機関群ごとの基礎係数と機能評価係数 に段階的に移行することとなりました。2012年度の改定において、調整部分の25%が機能評価係数 に置き換えられましたが、今後のさらなる移行措置によって病院経営に大きなインパクトを与えると予想されています。また、厚生労働省が発表した「2025年社会保険改革シナリオ」では、現在約107万床ある一般病床を、18万床の高度急性期と35万床の一般急性期病床に厳選し、その他の病床は亜急性期及び長期療養への機能転換を促しています。

これらの背景の中で急性期病院は、将来の方向性を定めた上での実績要件や機能評価係数 への取り組みが求められています。

このような状況を鑑み、DPC分析ベンチマークシステム「EVE」の係数指標メニューに、「DPC病院 群の要件」及び「機能評価係数 に係る評価」の分析機能を追加することとなりました。

当該指標を分析するに当たり、まず必要なのは自院の状況確認です。そのため今回は第一弾として、「DPC病院 群の要件」及び「機能評価係数 に係る評価」に関する自院の実績確認のほか、他病院とのベンチマーク比較が可能なモニタリング機能を追加することとなりました。

< サービスの概要 >

当該機能は、「DPC病院 群の要件」では診療密度、高度な医療技術の実施、重症患者に対する診療の実施に関する内容を、「機能評価係数 に係る評価」ではデータ提出指数、効率性指数、複雑性指数、カバー率指数、救急医療指数に関する内容を把握することができます。それぞれの項目については、自院と他院の実績を数値で確認できるのはもちろんのこと、自院の状況を時系列グラフとベンチマークグラフで確認することも可能です。

< 価格 >

当該機能は「EVE」に追加される機能であり、新たな料金は発生いたしません。

【指数一覧表】

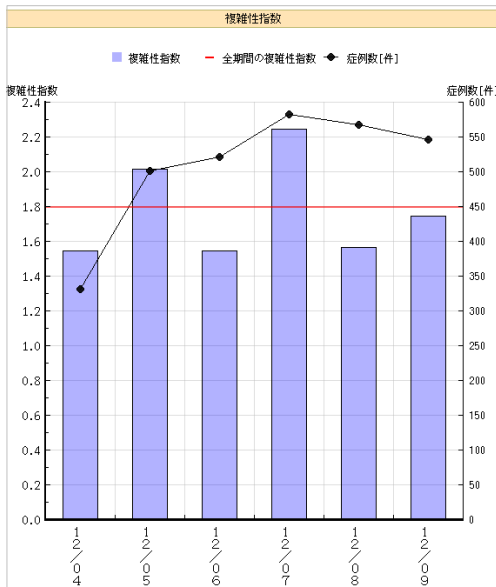
他病院条件			
病院規模	▼病院規模を選択	クリア	病院規模・病院種別・DPC実施区分・医療機関群の4項目で絞込みが可能
病院種別	▼病院種別を選択	クリア	
DPC実施区分	▼DPC実施区分を選択	クリア	
医療機関群	▼医療機関群を選択	クリア	
すべてクリア			

項目	名称	内容	自院	ベンチマーク(他院平均)
DPC病院群の要件	診療密度	1日当たり包括範囲出来高平均点数	0.99(補正データ:619病院分)	0.99(619病院の平均値)
	手術1件あたりの外保連手術指数		1)代表手術: 13.91(23809.24/1590件) 2)全手術: 13.93(26292.29/1888件)	1)代表手術: 13.33(42079.99/1355.55件) 2)全手術: 14.07(25572.67/1731.95件)
	高度な医療技術の実施	DPC算定病床あたりの外保連手術指数	1)代表手術: 11.60(3938.21/342床) 年換算:139.24(47618.49/342床) 2)全手術: 12.81(4382.05/342床) 年換算:153.76(52854.59/342床)	1)代表手術: 9.86(3850.45/385.69床) 年換算:118.23(46260.75/385.69床) 2)全手術: 11.21(4382.05/342床) 年換算:139.24(47618.49/342床)
機能評価係数に依る評価	重症患者に対する診療の実施	複雑性指数	1)代表手術: 265.00件(年換算:3180.00件) 2)全手術: 314.67件(年換算:3778.00件)	1)代表手術: 204.88件(年換算:2,458.59件) 2)全手術: 261.57件(年換算:3,136.39件)
	データ提出指数	部位不明・詳細不明コードの使用率	0.1797(補正データ:21619病院分)	0.1686(619病院の平均値)
	効率性指数	平均在院日数指数	6.898(329症例/4840症例)	6.348(487.92症例/747.94症例)
	複雑性指数	1人院あたり包括範囲出来高点数指数	1.45(補正データ:499病院分)	1.17(649病院の平均値)
	カバーステータス	年間12症例以上あるDPCのカバーステータス	0.88115(補正データ:21619病院分)	0.98529(619病院の平均値)
	救急医療指数	年間12症例以上あるDPCのカバーステータス	5.63015(164分組/2927分組)	5.79815(110.88207分組/2927分組)
			1096.99(1290881.10点/1133症例)	882.95(444182.39点/801.29症例)

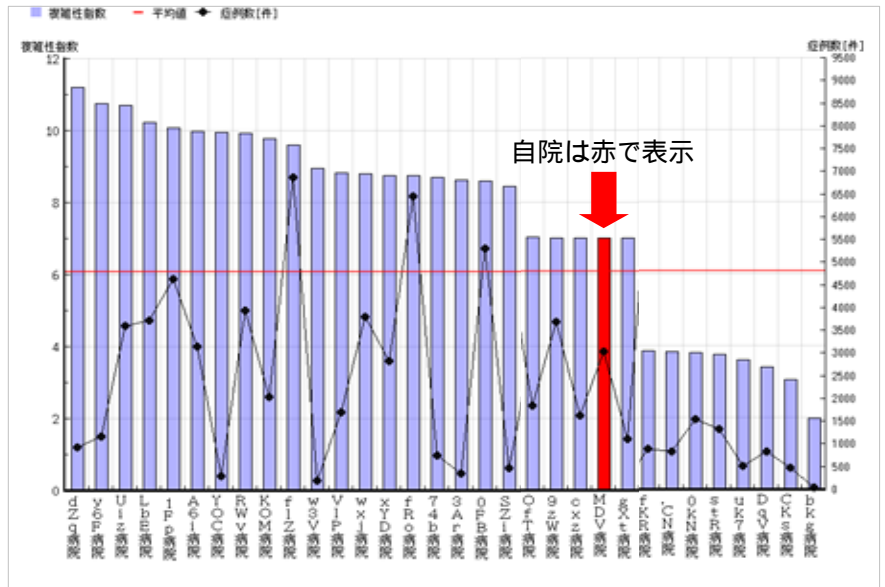
クリックでグラフ表示

クリックでグラフ表示

【 自院の実績を表す時系列グラフ】



【 他院と自院の実績を比較できるベンチマークグラフ】



< 'EVE' とは >

'EVE'は、E・Fファイルや様式1ファイルなどのDPCデータを活用したDPC分析システムです。出来高請求とDPC請求の差額分析や、患者数・在院日数・医療資源(薬剤・注射・処置・検査・画像項目別)等の各経営指標を把握することができます。'EVE'の最大の特徴は、他院とのベンチマーク機能を保有している点です。ベンチマーク機能を活用することで、他院と自院を比較することで強みと弱みを把握し、他院の良い点を取り入れた経営方針を立てることが可能です。

製品名	EVE2011
価格	600万円(税別) 月額75,000円(税別)の保守費用が別途かかります
導入病院数	665病院(2012年12月末日現在)
主な機能	出来高請求とDPC請求の差額表示 患者数・在院日数・医療資源(薬剤・注射・処置・検査・画像項目別)等の各経営指標表示

< 本件に関するお問い合わせ先 >

メディカル・データ・ビジョン株式会社 広報担当
MAIL: press@mdv.co.jp TEL: 03-5283-6911(代表)

株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン 広報担当
MAIL: ghcpr@ghc-j.com TEL: 03-5467-0123(代表)